

高齢歩行者が道路横断中に 交通事故に遭わないために実践！！

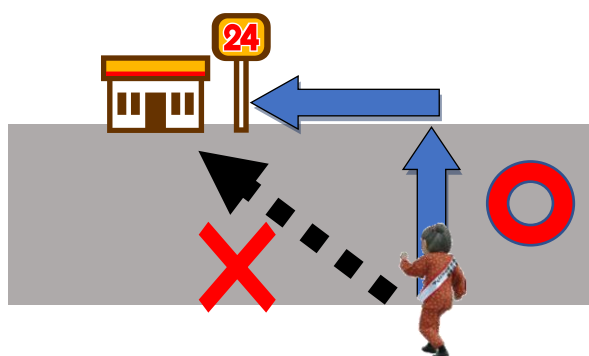


高齢歩行者の交通事故の約半数は、自宅から 500m 以内で発生しています。
その大半は、「信号無視」や「横断禁止場所横断」等、歩行者側に違反があります。



歩行者編

実践 その1

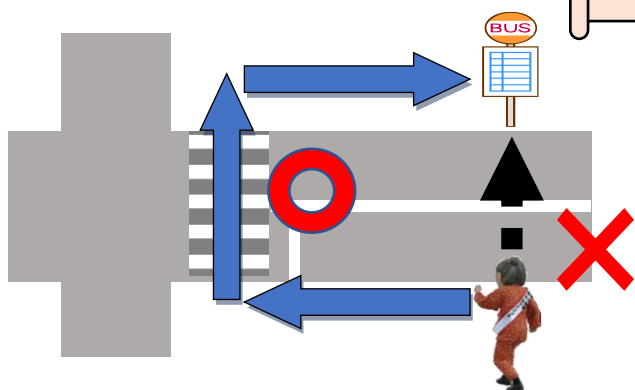


横断する前に一呼吸おいて、
左右の安全確認を！

『斜め横断』の禁止！

遠くに車が見えたら要注意！
車が来るより先に渡り切れると思っても、斜め横断
をすると道路上にいる時間が長くなり危険です。
車はあっという間に近づいてきます。

実践 その2



『車両の直前直後の横断』は禁止！

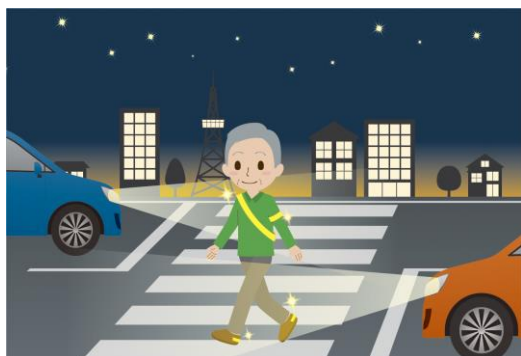
『付近に横断歩道がある場合は、 その横断歩道を横断』

車の流れは日々変化します。
生活道路と交差する広い道路に注意！
信号機のある交差点や横断歩道を渡りましょう。

急がば回れ！！

歩行者にも守るべきルールがあります。

実践 その3



『反射材』や明るい色の服を着て、
自分の存在をアピール！

『慣れた道でも油断禁物』

夕暮れや夜間は、周りがよく見えなかったり、
学校や会社帰りの人が帰路を急いでいたり、
昼間とは違った危険が隠れています。



『反射材』を身に着けましょう！！

～神奈川県警察～